



備えあれば
憂いなし!

くわな防災教室

今月のテーマ「令和3年度自治会連合会自主防災訓練」

桑名市では、防災意識の向上と住民相互の防災体制の連携を強化するため、少なくとも3年に一度、各自治会連合会の主催で自主防災訓練が実施されます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの自主防災訓練が中止となり、今年度に持ち越しとなりました。今年度も影響は避けられませんが、実施するにあたっては徹底した感染症対策を行います。

また、これまでの訓練では、初期消火や応急手当、地震体験と多くの参加者が体験できる訓練が主流でしたが、市としても、今後は、避難場所や避難経路、避難方法の確認のほか、避難所の開設や運営訓練などを少人数で実施し、参加者が検証を行った上で地域住民へ周知するという手法を提案していきたいと考えています。訓練を実施する地域の皆さんには、各自治会連合会から案内がありますので、ご協力をお願いします。

【令和3年度の実施予定】

地区名	実施日	地区名	実施日	地区名	実施日
日進地区	7月11日(日)	多度北地区	10月24日(日)	桑部地区	11月7日(日)
藤が丘地区	9月12日(日)	長島北部地区	10月24日(日)	新西方地区	11月14日(日)
多度東地区	9月19日(日)	久米地区	10月31日(日)	大和地区	11月27日(土)
野田地区	9月26日(日)	精義地区	11月6日(土)	益世地区	11月28日(日)
多度中地区	10月23日(土)	七和地区	11月6日(土)		

▷新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、急きょ中止される場合があります。

問 防災・危機管理課 (☎ 24-1185 FAX 24-2945)

考えてみよう、人権のこと。

今月のテーマ

性の多様性

県は4月1日に施行された「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」において、性的指向や性自認を本人の了解なく第三者に暴露する「アウトティング」の禁止を都道府県で初めて盛り込みました。

アウトティングは家族関係や就労関係を不安定なものにしたり、友人との人間関係を分断し孤立させたりしかねないもので、精神疾患や自殺などに追い込んでしまうような事例も報告されています。

しかし、本来めざすべきは、「条例を定めて禁止しなければならぬ社会」ではなく、「アウトティングが何の意味もなさない社会」であり、並行して、性の多様性に関する適切な認識を広げていかなければ根本的な問題は解決しません。

「電通ダイバーシティ・ラボ」が全国6万人を対象にした「L

GBT調査2018」によると、LGBT（レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーなどの性的少数者）であると自認している20〜59歳の割合は実に8・9%となっています。

すでに、LGBTは限られた少数を指す言葉ではなく、普通に身近にいる存在として認識しなければなりません。そしてその誰もが自らの性のあり方を大切にし、それを他の人から否定されないという権利を持っているのです。

人それぞれ違っていることは当たり前であり、その全ての個性を尊重し合える世界こそ私たちのめざす社会ではないでしょうか。

【人権啓発推進本部 女性部会】

問 税務課

☎ 24-11145
FAX 24-11253